

富士河口湖町立 教育センターだより

No. 19



平成30年1月31日 文責 遠山 榮子

管外視察研修

富士宮市 富士山学習 PART II 発表会



1月27日(土)静岡県富士宮市文化会館大ホールにおいて、第20回富士山学習 PART II 発表会が行われました。教育センター管外視察研修として平成25年度の第16回より、参加しています。今回は14名の参加がありました。

「富士山を心に、夢をもって生きる子ども・知りたいことを共に学ぶ旅」を大テーマに、当日の午前中は、33校が各会場に分かれてのプレゼンテーション発表、午後は2校のステージ発表がありました。20回を迎えた今年度の発表会は、「発信」に力を入れた内容ということでした。

午前中のプレゼンテーションの部では、対話的な学びを意識して発表者と聴衆が双方向のコミュニケーションを図り、相互に学びが深まる発表を目指している様子を学ぶことができました。展示物からは、すべての学校が、学びの過程にそって、小学校1年生から中学校3年生まで、系統的に学習を進め、日々の学習の場で、子ども達が様々な力を鍛えられてきていることを強く感じました。

午後は、2つのステージ発表を見ました。課題設定、課題追求、新たな疑問、新たな課題、課題解決発信、評価、まとめという一連の活動が、子ども達・先生・関わった地域の方々が実際に登場する中で劇化され、教科と関わる学びの過程もよく伝わりました。中学生と地域の方が一緒になり富士宮のお土産となるものを考え、商品化に取り組む実践の発表には、頼もしくほほえましく聞くことができました。「静岡県富士山世界遺産センター」のライトアップで、より多くの人に関心を持ってもらおうという展示発表もありました。子ども達の発想とパワーが、地域と一体となって具体化されるダイナミックな取り組みは、小中学校が進める富士山学習を通して、富士宮市民が互いの絆を深め、発展向上に努めている姿勢を感じました。なお、学期末のお忙しい中ですが、各学校で、何らかの形で参加して下さった先生方から視察研修の還流報告をしていただくことができれば、本町における富士山教育の実践が一層進められるのではないかと思います。



第5回研究会(富士山学習研究会)

日時 2月20日(火) 3:50~
場所 中央公民館 視聴覚室
内容 今年度の反省について
研修 富士山科学研究所プログラムについて
講師 富士山科学研究所

